（別紙報告様式）

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告（令和8年度報告）

市町名：竹原市

1　事業評価報告

事業実施主体名（協議会名）	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始時期	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績									事業実施主体の評価
										獣種	被害金額				被害面積				
											現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率	
											万円	万円	万円		ha	ha	ha	%	
竹原市有害鳥獣駆除対策協議会	竹原市	R4	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	5基	竹原市有害鳥獣駆除対策協議会	R4.6	100%	【捕獲わなの整備】 ○捕獲頭数実績 ・イノシシ R3：570頭 R4：616頭 R5：550頭 R6：610頭 R7：380頭 ・シカ R3：411頭 R4：497頭 R5：487頭 R6：555頭 R7：587頭 ・タヌキ、キツネ、ヌートリア R3：77頭 R4：48頭 R5：68頭 R6：90頭 R7：50頭 【侵入防止柵の整備】 侵入防止柵の整備を行い、イノシシ・シカ・カラスによる受益圃場の農作物被害を防いでいる。	合計	1,350	1,083	913	164%	4.39	3.75	4.98	−92%	【評価】 被害金額については164%、被害面積については−92%の達成状況であり、昨年度と比較すると被害金額及び被害金額ともに改善された。 鳥獣ごとにみると、シカは、捕獲及び侵入防止柵等、一体的に対策を行い、捕獲頭数は増加傾向にある。イノシシについては、シカと同様の防止策を一体的に実施しているが、豚熱の流行が要因となり捕獲頭数が大きく減少したと思われる。被害については、イノシシ・シカは昨年度と比較すると被害金額・面積ともに減少しているが、ブドウやレンコン等、比較的高単価の作物の被害は継続してみられる。 鳥類は、R7年度にカラス防止侵入施設を整備した地区においてブドウほ場での被害が大きく減少し、被害金額・面積とも大きく減少となった。 【今後の取組】 ○イノシシ・シカ 捕獲及び侵入防止策の整備を今後も継続して実施し、一体的な対策を講じ効果的な対策の普及を図る。 ○鳥類 カラスによるブドウ被害の軽減のため、R4年度から軽量ワイヤーを用いた侵入防止施設の整備を実施しており、効果がみられるため、今後も継続して、対策の普及を図る。
		R5	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	4基		R5.9	100%		イノシシ	333	300	360	−82%	2.16	1.94	2.45	−132%	
		R6	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	5基		R7.2	100%											
		R7	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	2基		R7.10	100%		シカ	93	84	300	−2300%	0.94	0.84	1.99	−1050%	
竹原市	竹原市小梨地区	R4	イノシシ・シカ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H=2m、L=700m	株式会社八天堂ファーム	R4.6.17	100%		タヌキ・キツネ・ヌートリア	34.6	32	10	946%	0.13	0.1	0.02	367%	
	竹原市竹原地区		カラス	カラス侵入防止施設（弾性ポール、防鳥ワイヤー他）	H=0.2m、L1,325m	竹原ぶどう部会	R4.12.31	100%		カラス・スズメ	889.3	667	243	291%	1.16	0.87	0.52	221%	
	竹原市竹原地区	R5	カラス	カラス侵入防止施設（弾性ポール、防鳥ワイヤー他）	H=3.2m、6,606m	竹原ぶどう部会	R6.3.15	100%											
	竹原市竹原地区		カラス	カラス侵入防止施設（弾性ポール、防鳥ワイヤー他）	H=3.2m、4,863m	竹原ぶどう部会	R6.3.15	100%											
	竹原市小梨地区		カラス	カラス侵入防止施設（弾性ポール、防鳥ワイヤー他）	H=3.2m、8,129m	株式会社八天堂ファーム	R5.12.28	100%											
	竹原市小梨地区		イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H=1.2m、L=659m	小梨地区農業者代表　渡橋達也	R6.3.8	100%											
	竹原市竹原地区		イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H=1.2m、L=1,387m	吉崎地区農業者代表 赤坂佳折	R6.3.15	100%											
	竹原市竹原地区	R6	イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H=1.2m、L=9,316m	竹原ぶどう部会	R7.3.7	100%											
	竹原市田万里地区		イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H=1.2m、L=502m	株式会社笑福運根	R7.3.14	100%											
	竹原市小梨地区		イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H=1.2m、L=1,118m	小梨地区農業者代表　渡橋達也	R7.3.14	100%											
	竹原市仁賀地区	R7	イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H2.0m、L582m	中西谷中山間地会	R8.3.9	100%											
	竹原市吉名地区		イノシシ	侵入防止柵の設置（ワイヤーメッシュ柵）	H2.0m、L335m	吉名地区農業者代表橋本海士	R8.3.16	100%											
	竹原市竹原地区		カラス	カラス侵入防止施設（弾性ポール、防鳥ワイヤー他）	H3.2m、L37,000m	竹原地区農業者代表貞森雅之	R8.3.18	100%											

注1）被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2）達成率の算出方法については「実績値（＝基準年値－実績値）／目標値（＝基準年値－目標値）」であるとして算出してください。

注3）被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組（販売拡大支援）」のメニューを活用した場合に記載してください。

2　第三者の意見

竹原市における鳥獣被害防止総合対策事業は、地域の実情に即した多面的な対策を講じており、捕獲用箱ワナの整備や侵入防止柵の設置、カラス対策施設の導入など、対象鳥獣ごとに工夫された取り組みが展開されている点は高く評価できる。特に、供用開始後の稼働率がいずれも100%であることから、事業実施主体および関係農業者による管理体制が機能していることがうかがえる。
昨年度は、被害防止計画における目標値と実績値の乖離が著しかったが、今年度は被害金額の合計は目標値を達成していることは評価できる。しかし、個体毎の被害金額を見ると目標値と実績値の乖離が著しい部分もあるため、引き続き対策を講じる必要があると思われる。被害面積については、昨年度と比較すると減少はしているが、目標値との乖離は著しいことから課題である。昨年度はカラスによるブドウ圃場への被害が著しかったが、令和7年度に実施した施設整備の効果がみられ、数値も大きく改善しており評価できる。イノシシ・シカによる高単価作物への被害は、昨年度と比較すると減少傾向にはあるが、目標値との乖離もみられるため継続した取組が望まれる。
捕獲頭数は令和7年度においては、全体としては減少傾向にあるがシカは増加傾向にあるため、捕獲と防護の両面における更なる取組強化が求められる。また、被害防止計画の目標設定においては、現状の実績等を踏まえた現実的な数値設定と、達成度を測るための明確な指標の整備が望まれる。
総じて、被害金額について数値が大きく改善されたことから、地域の農業生産活動を守るため、継続的に事業を推進することを期待する。

ひろしま農業協同組合三原地域　統括長　吉田　保宏

注）第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。